

拝啓 初秋の候、貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

共和ゴムの寺阪です。

弊社子会社の農業法人「よしかファーム株式会社」での高糖度ミニトマトの栽培も今年でようやく4年目となりました。例年の猛暑対策として昨年導入したドライミスト噴霧装置のおかげでだいぶマシにはなってきましたが、まだまだ高温障害が出ていたので、今年は更にチラー（冷却水循環装置）を導入、灌水の温度管理も15～18℃に設定し、ドライミストと併せて相乗効果が出てきております。



代表取締役 寺阪 剛
Takeshi Terasaka

肝心の決算は昨年も赤字でしたので創業以来まだずっと赤字が続いておりますが、昨年度は損益分岐点売上高に大きく近づくことができ赤字幅もかなり少なく、キャッシュベースでは初の黒字となったので今年度こそ黒字化を目指しております。

コロナ禍で主な販売先である伊勢丹様、東急百貨店様、京阪百貨店など百貨店様の業績悪化がとて心配なところですが、大変ありがたいことに、弊社のトマトに限っては現時点で昨年以上のご注文を頂いております。昨年度はやっと伊勢丹新宿本店様にてトマト部門で販売1位となりました。今年は伊勢丹新宿本店様、伊勢丹浦和店様の両店舗で販売1位を目指しております。他社との差別化として「糖度別販売ならびに全数糖度保証」という日本国内初の試みも、自分で自分の首を絞めるような感じで相変わらずかなり苦勞しておりますが、4年目にして徐々に市場に認知されてきました。

また更なる攻めの一歩として、機能性表示食品への登録、同志社大学との産学連携の2つに取り組んでおります。今年新たに導入した設備でリコピン含有量の全数測定も可能になりました。弊社で栽培したトマトのリコピン含有量をずっと測定しているのですが、露地栽培のトマトと比較して3割ほど含有量が多いので、来年度には機能性表示食品への登録を目指して申請書類をしっかりと作成しようと思っております。

次に同志社大学生命医科学部アンチエイジングリサーチセンターとの産学連携で、弊社トマトの抗糖化作用、抗酸化作用について共同研究に取り組んでおります。弊社の取り組みが斜陽産業といわれる日本の農業に少しでも貢献できるよう「農業を健康産業に！」をモットーにこれからも頑張っていく所存です。

今後とも何卒宜しくお願い致します。

敬具



<http://www.kyowa-r.com/>



共和ゴムニュースレター 第57号
2020年9月発行

ニュースレターのバックナンバーは
弊社ホームページでご覧いただけます。

共和ゴム株式会社

本社

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3丁目4番地3
Tel. 072-855-1039 / Fax. 072-855-1090

東日本営業所

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-15-3日本橋HYビル4F
Tel. 03-5255-5133 / Fax. 03-6673-3505

栃木事業所

〒323-0057 栃木県小山市南小林439
TEL:090-3268-1039 FAX:028-333-1169

KYOWA RUBBER NEWS LETTER



2020.9 Vol. 57

西日本営業部

たけまさ
武政 恭平

ニュースレターを御愛読頂いている皆様、初めまして。

8月21日(金)より西日本営業部に配属されました武政恭平と申します。



共和ゴムには約1年前に入社し、1年間の製造研修を経て、このたび営業部に配属となりました。前職は東京都の化粧品OEMメーカーで営業をしておりました。同じ製造業とは言え、全く異なるフィールドに飛び込んで参りましたので、入社してからの1年間は、まず製造部で実際にゴム成型品の製造を担当し、現場を学ぶことからでした。

自社製品を知る上で、「見る」よりも実際に現場で「自ら作る」経験ができ、非常に有意義な1年となりました。製造研修は色々と本当に大変でしたが、たくさんの方が学べて自分自身の成長に繋がりましたので、この経験を、今後の営業としての活動に積極的に繋げていきたいと思っております。

簡単ですが、自己紹介をさせていただきます。

- 1991年3月12日生まれの29歳です。
- 現在は、大阪府枚方市にて妻と息子(4歳)と暮らしております。
- 趣味は、サッカー・筋トレです。

サッカーは、小学2年生から現在に至るまで続けている大好きなスポーツです。実は弊社がスポンサーをしているFCティアモ枚方にも1年間だけ在籍していました。

筋トレに関しては、昨年より本格的な肉体改造に取り組んでおり20kg以上の減量に成功しました。週3日欠かさず、パーソナルトレーナーに組んで頂いている特別メニューで自らを追い込んでおり、これからもしっかりと維持していきます。

いち早くお客様皆様のお役に立てるよう日々精進致しますので、ご指導のほど、宜しくお願い申し上げます。

メンテナンス・レジリエンス
OSAKA 2021

建設資材展

出展レポート



西日本営業部
林 充男

西日本営業部の林です。こんにちは！

去る7月29日～31日の3日間、メンテナンス・レジリエンス大阪2020建設資材展に出展致しました。

例年であれば東京ビックサイトでの開催ですが今回は東京オリンピックのプレスセンターとなる予定だったのでインテックス大阪での開催でした。

コロナ禍とのこともあり、来場者には完全事前登録制が取られ、来場予定も1時間ごとの登録になっており、最大収容人数が5,000人を下回るよう入場人数のコントロールを徹底。参加者にはマスクの着用を呼びかけ、入場口ではサーモグラフィーなどによる検温も実施。会場内のいたるところに消毒液を設置、混雑緩和のため、通路幅を広くとる、セミナーでは座席間隔を空けるなど3密を避けるための工夫も各所に見られました。各ブースでも自主的なフェイスシールドの装着などもありました。そのような主催者・出展者の最善の努力もあり昨年(東京開催)の3分の1程度の全体入場者数ではあったものの弊社ブースにも多くの皆様に足を運んで頂きました。

展示製品としては

- ・ ボルトナット防錆キャップ「まもるくん」
- ・ 地中埋設ハンドホール用継手「なんでも継手」
- ・ コンクリートブロック用目地材「目地フォーム」
- ・ コンクリート埋め込みアンカー保護用「アンカーゴムキャップ」
- ・ 高機能保冷剤「COOLwith」

などを展示しそれぞれ実際に手に取って頂き御覧頂きました。



その中でも多くの方々から「まもるくん」に目を止められ弊社説明員の話に興味深く聞いて下さいました。



ボルトナット防錆キャップ
「まもるくん」
NETIS : KK-190041-A

全体の来場者数は少なかったのですがいつもより目的を持った来場者様が多かったように感じました。

今後、各インフラの高寿命化、メンテナンス作業の効率化、施工・補修・保全の省人化がさらに求められる時代になります。弊社製品もより安全且つ、作業効率の高い、商品開発を進めて参ります。皆様方のご意見がさらなる良い商品開発へと繋がると考えておりますので製品・施工工法に対してご相談など頂ければと思います。

弊社営業マンへお気軽にお声掛け下さいませ。

宜しくお願い致します。